

# 2022 年度 認定施設申請のご案内

## I.認定施設とは

日本乳癌学会認定施設とは、本学会によって認定された診療・教育施設で、乳腺疾患を診療するための症例数が一定以上あり、かつ本学会が認定した専門医(以下、乳腺専門医とする)のもとで本学会の定めるカリキュラムに従った修練を行うための施設である。

## II.認定施設申請資格

- (1) 大学病院、一般病院または乳癌を主な対象とする専門施設
- (2) 乳癌の画像診断・手術療法・化学療法または放射線治療症例数がいずれか一つの領域で年間 30 例以上行われていること(混合不可)
- (3) 乳腺専門医が常勤していること
- (4) 十分な指導体制がとられていること
- (5) 当該認定施設において乳腺疾患の全般について修練が可能であること
- (6) 諸設備の完備、教育行事の開催および研究発表がなされていること
- (7) 手術で申請する場合は NCD 乳癌登録を実施していること

## III.申請期間

2021 年 8 月 1 日～2021 年 9 月 30 日 (必着)

尚、申請期間を過ぎて届いた申請は一切開封いたしません

※関連施設の申請書類は認定施設がとりまとめ、一括で申請すること

## IV.認定料について

申請が認められた場合には、認定料として 20,000 円を納付してください

認定料の納付が確認でき次第、認定証を発送いたします

合格通知に認定料振込口座を記載いたします

## V.提出書類

### 作成にあたっての注意事項

- ・虚偽の記載が判明した場合には、申請者及び施設の認定を遡って停止となる可能性があります
  - ・手術療法、画像診断、放射線治療、化学療法から1つ選択する
  - ・旧書式による申請書類は受け付けません、最新版をダウンロードしてください
  - ・申請書類は全てA4サイズ（片面印刷）に統一してください
  - ・記入欄が不足している場合は、適宜追加してください
  - ・書類一式のホチキス止めは不要です
  - ・必ず手元に申請書類の副本を保管してください
- 事務局より、申請書類について問い合わせをする可能性があります

### 提出書類

- 1) 認定施設申請書
  - 2) 設備内容・実績報告書
  - 3) 専門医履歴書(申請書の専門医氏名欄に記載をした全ての先生の履歴書が必要)
  - 4) 勤務証明書(申請書の専門医氏名欄に記載をした全ての先生の勤務証明書が必要)
  - 5) 乳腺認定医修練カリキュラム計画書
  - 6) 乳腺専門医修練カリキュラム計画書
  - 7) 症例記録
    - ・手術療法、画像診断、放射線治療、化学療法何れかの領域において30例以上あること
    - ・画像診断、放射線治療、化学療法を選択した場合は、症例記録に詳細なレポート30例提出すること
- ※COVID-19の影響で診療縮小がやむえない状況であった場合、事務局までご相談ください。

### 《申請書類における患者個人情報の保護について》

- ・提出書類記入にあたっては、個人が特定出来ないよう施設の個人情報取り扱いに関する規定を順守すること
- ・施設監査を行った際にスムーズに診療録や手術記録とつぎ合わせ確認が出来るようにしておくこと

各診療領域の条件については、以下の通り定める

#### 【手術療法】

- ・2020年の症例であること
- ・専門領域選択（乳腺）まで記入した症例のみをNCD登録症例として認める
- ・症例記録の提出は不要、事務局にてNCDに照会いたします

※該当するNCD症例の見直しを行いました。該当症例につきましては別紙をご参照ください

#### 【画像診断】

- ・2020年の初診であること
- ・乳癌症例記録(画像診断)には、初診年月・診断手技・病理組織診断確認日・病理組織診断名の記載が必須
- ・組織診断による癌の診断確定を得ていること\*が必要（細胞診による診断は不可）  
\*申請者自らが針生検などにより病理組織診断が行わなくても、最終的に”組織診断による乳癌の確定診断を得ていること”をフィードバックを受け、自らの画像診断の精度管理を行っていれば、この要件をクリアしていると判断します
- ・再発・転移に対する診断は認めない

#### 【放射線治療】

- ・2020年の初診、もしくは新規治療開始症例
- ・乳癌症例記録(放射線治療)には、初診年月・原発、再発/転移・病理組織診断名・術式・照射部位・照射期間・照射線量の記載が必須

#### 【化学療法】

- ・2020年の初診、もしくは新規治療開始症例
- ・乳癌症例記録(化学療法)には、初診年月・病理組織診断名・HR・HER2・治療ライン（術前/術後/進行再発）・薬剤名・投与期間の記載は必須
- ・殺細胞性抗癌薬に限る（ホルモン療法・分子標的治療のみ及びその併用は不可。抗体薬物複合体は可）
- ・殺細胞性抗癌薬の初回投与開始症例のみとし、治療の継続やレジメンの変更などは不可

## 8) 業績目録

※業績は申請施設名の所属であることが必須となります

- ・ 2019 年から 2020 年までの乳腺疾患に関する施設における研究業績が 8 点以上あること
- ・ 査読のある全国規模の学会（日本乳癌学会地方会は可とする）、学術誌、医学誌であること（病院誌・商業誌不可）
- ・ 以下のような証拠となる業績のコピーを添付し、施設名を丸で囲むこと

### 【論文】

- ・ 論文別刷あるいは題名・所属・発表者名の記載されているページのみ（但し、論文要旨が含まれていない場合は論文要旨を含むページも添付すること）

### 【学会発表】

- ・ 発表学会名、発表年月日が記載された抄録集の表紙か会期がわかるページと抄録のコピー

過去の乳癌学会学術総会の抄録については、会員専用ページにて閲覧可能

## 9-1) 認定施設に所属する関連施設

- ・ 一人の専門医が指導する関連施設は 4 施設までとする

## 9-2) 2019 年・2020 年関連施設指導実績

# VI.提出先

〒103-0027

東京都中央区日本橋 3-8-16 ぶよおビル 3F

日本乳癌学会 宛

書類の確認が完了次第、申請書類問合わせ先に受領メールを送信いたします  
書類到着に関するお問合わせにつきましては対応いたしかねますので、  
配達記録が残る簡易書留、レターパック等でお送りください

## VII.チェックリスト

- 1) 認定施設申請書
- 2) 設備内容・実績報告書
- 3) 専門医履歴書
- 4) 勤務証明書
- 5) 乳腺認定医修練カリキュラム計画書
- 6) 乳腺専門医修練カリキュラム計画書
- 7) 症例記録（画像診断、放射線治療、化学療法を選択の場合）
- 8) 業績目録
  - 論文のコピー、学会発表等の抄録のコピー
- 9-1) 認定施設に所属する関連施設
- 9-2) 2019年・2020年関連施設指導実績

※原本のみ提出をお願いいたします。副本はお手元でご保管ください。